

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和 2 年度『学校だより』

第 8 号 R 2, 1 1, 1 1

校 長 佐藤 秀美

文責 教務主任 齋藤 康則

愛・誠・勇 音楽祭



11月5日（木）にふくしん夢の音楽堂で、「愛・誠・勇 音楽祭」を行いました。

今年のスローガンは、「鳴り響け、エール！ 心を一つに美しい歌声を!!」でした。全学年、「歌」や「合奏」など、今までの練習の成果を発揮して心を一つに美しい演奏を披露することができました。

本年度は、感染症対策として、児童席の間隔を空け、保護者の皆様には、学年毎の入れ替え制として鑑賞していただきました。お子さんの発表している姿と距離があり、ご不便をおかけしましたが、サポーターの方の誘導により、スムーズに入れ替えができました。「すばらしい発表でした。」「感動しました。」などの声がたくさん学校に寄せられました。



12月7日（月）から行う「個別懇談」の控室で、音楽祭の全ての発表をビデオで放映する予定です。全校合唱や、他の学年の発表も観ていただければと思います。

鑑賞教室

10月24日（土）にふくしん夢の音楽堂で、「鑑賞教室」を行いました。

長谷川ファミリーによる音楽の鑑賞で、歌、合奏、踊りとすてきな舞台を鑑賞しました。最後に、長谷川ファミリーの演奏に合わせて、全校生で鬼滅の刃の「紅蓮華」を歌いました。



奉仕作業

10月24日（土）の「土曜授業」の日に、PTA専門委員会による「奉仕作業」が行われました。

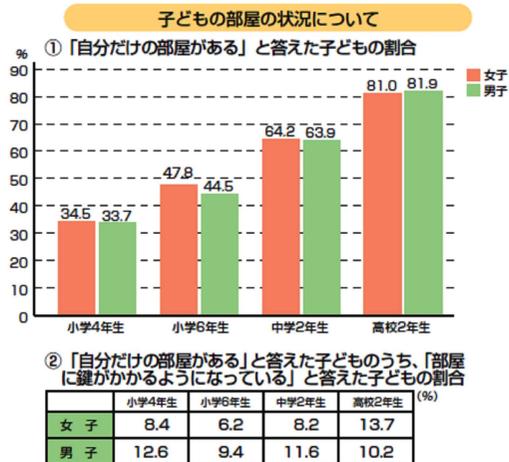
今回の作業内容は、「エアコンのフィルター掃除」「理科室前除草作業」の二つでした。これから冬に向けての環境が整備されました。ありがとうございました。



子ども部屋を与えるときには、 そのルールも与えよう。

今日、子ども部屋の問題がいろいろと出てきています。子どもが部屋に閉じこめると、親の注意が行き届かなくなったり、親子の会話が減ったりします。また、子ども部屋が犯罪の場になってしまう例もあります。

子ども部屋を子どもの成長に役立つようにするには、ルールが必要です。居間に顔を出してから部屋に入る、子ども部屋に鍵をかけない、友人は部屋に入れる前に親に紹介する、親はその責任として必要なときに子ども部屋に入るなど、子どもの様子をしっかり把握できるように、各家庭で子ども部屋のルールづくりをしましょう。



(注) 各学年、約2,000人を対象に調査
資料: 「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査」平成14年・文部科学省

危険を知ることが、 身を守ることにつながる。

行動範囲がぐっと広がる小学生の時期は、大人の目の届かないところで事故や事件に巻き込まれる場合も少なくありません。

大切なのは、子ども自身が何が危険なものなのかを知っておくことと、危険を回避する方法を身につけておくことです。「家の前の道は日中は車が多いから子どもだけで歩くのは危険。ちょっと遠回りになるけれど、車の少ない安全な道を通って遊びに行こうね。」というように、子どもがわかるように、何度も伝えることが大切です。

こうしたやりとりの中で、子どもは危険なものを知り、どう回避するかを学んでいきます。

また、思いがけない危険もあります。例えば、見知らぬ人からイヤなことをされそうになったときには、どうすればよいのかを教えることが大切です。

子どもに危険や事故の防止、対処の仕方について教える